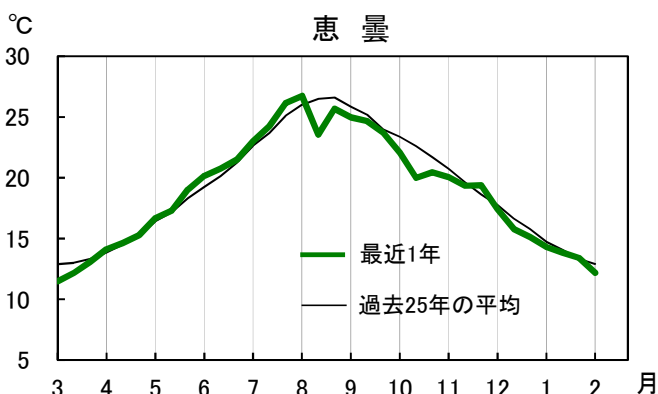
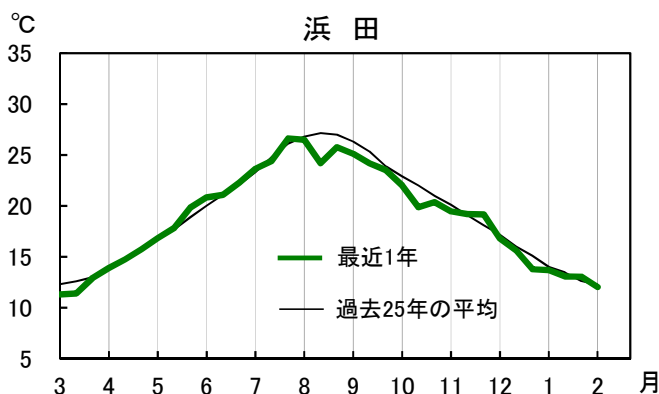




《1～2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	13.3℃	-0.04℃	平年並み
恵曇	13.8℃	-0.1℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では1月は上旬が「平年並み」、中旬が「やや低め」、下旬が「やや高め」と変動しました。一方、恵曇地区では1月は上・中・下旬とも「平年並み」で推移しました。2月に入り、上旬時点では浜田地区は「平年並み」、恵曇地区は「やや低め」で経過しています。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。主体であるサバ類は270トンで平年の1.7倍、マアジも91トンで1.1倍だった他、例年漁獲量の少ないサワラやスルメイカが漁獲されました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではブリ、サバ類、スルメイカ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。主体であるサバ類は西郷で508トン（平年の3割）、浦郷で296トン（平年の5割）となり、ブリ類は西郷で704トン（平年の1.4倍）、浦郷で129トン（平年の9割）となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカからスルメイカ（全体のほぼ100%）主体の漁況に切り替わり、1隻1航海当りの漁獲量は3.4トンで平年を上回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）では前月に続きスルメイカ（全体のほぼ100%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は228kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は17.6トンで平年を上回りました。年明けよりマフグがまとまって漁獲され、平年の約9倍の水揚げとなりました。一方、この時期まとまって漁獲されるソウハチは低調で平年の4割、ムシガレイ、アンコウは平年の6～8割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともにソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は和江地区では平年並み、久手地区は平年を下回る水揚げとなりました。ソウハチは、和江地区では平年をわずかに上回りましたが、久手地区では8割の水揚げに留まりました。また、マダラは両地区でまとまり、平年の1.8～2.1倍の水揚げとなりました。一方、アンコウは両地区とも平年の6割の水揚げに留まりました。

【定置網漁業】

石見地区ではカワハギ類、スズキ主体の漁況で、1統当りではカワハギ類が平年の4倍、スズキは平年並みだったものの、出漁統数が少なかったため、全統の総漁獲量は2トンで平年を大きく下回りました。出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1統当りではサワラ類、ブリがそれぞれ平年の1.5倍、サンマ、マアジ等他の魚種も多くが平年並みか平年を上回ったため、全統の総漁獲量は140トンで平年を上回りました。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りではスルメイカが平年の4倍で、全漁獲物構成のほぼ9割を占め、全統の総漁獲量は240トンで平年を上回りました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は45kgで平年並みでした。石見地区ではサワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は35kgで平年並みでした。隠岐地区ではスルメイカ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は53kgで平年を上回りました。

【平成 27 年 1 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	434トン	154%	158%	43.4トン	200%	126%	◎
	西郷	ブリ、サバ類、スルメイカ	2,083トン	48%	61%	40.8トン	55%	63%	▲
	浦郷	サバ類、スルメイカ、ブリ類	779トン	44%	69%	26.8トン	52%	75%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	101トン	247%	267%	3.4トン	230%	425%	◎
	西郷	スルメイカ	34トン	11144%	1191%	228kg	374%	238%	◎
沖合 底びき網	浜田	マフグ	370トン	133%	129%	17.6トン	140%	129%	◎
小型 底びき網	久手	ソウハチ	80トン	93%	85%	590kg	97%	88%	▲
	和江	ソウハチ	175トン	119%	104%	630kg	99%	78%	▲
定置網 (大型)	浜田	休漁	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	スルメイカ	61トン	116%	91%	740kg	122%	86%	○
	浦郷	スルメイカ	163トン	635%	729%	6.5トン	635%	748%	◎
釣り・縄	仁摩	サワラ類、メダイ	5トン	67%	53%	42kg	103%	81%	▲
	大社	ブリ、サワラ類	15トン	87%	93%	44kg	84%	91%	○
	西郷	スルメイカ、カサゴ・メバル類	5トン	167%	69%	42kg	127%	86%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを-、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を-、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を-とした

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。